



下呂市 議会だより

GERO CITY
assembly

66

令和2年11月1日



飛騨地域の中学校・高校19校が参加する「全飛吹奏楽祭」が9月20日、21日に飛騨・世界生活文化センターで行われました。下呂市からは下呂中学校、金山中学校が合同編成で参加し、新型コロナウイルスの影響で演奏する機会をなくした部員たちが日頃の練習の成果を発揮されました。

会場では、演奏者間を高さ2メートルのブースで仕切り、観客は保護者の方々に限られました。さらに、演奏者が替わるごとに、ブースや観客席などの消毒を徹底するなど、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策「コロナ社会を生き抜く行動指針」を順守し開催されました。

CONTENTS

- 9月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 2~P 4)
- 9月定例会の報告(令和元年度決算審査) (P 5)
- 令和元年度下呂温泉合掌村事業会計決算を全会一致で不認定 (P 6)
- 一般質問で13人が市政を問う (P 7~P13)
- 下呂市議会基本条例(案)に対する意見募集について (P14)

9月定例会の報告

9月3日から30日の28日間を会期として、令和2年第5回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、副市長選任の同意、市功労者表彰の同意、災害復旧等に係る補正予算の可決や専決処分の承認を行いました。

また、条例改正、補正予算、令和元年度決算などが委員会付託され最終日に可決、認定、不認定としました。産業経常任委員会から提出された、「地域の実情に応じた経済対策を求める意見書」および新型コロナウイルス感染症対策特別委員会から提出された、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求めるための意見書」が可決され、国へ提出することになりました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
下呂市副市長の選任について	同意(全会一致)
専決処分の承認について（一般廃棄物処理に係る事務の委託）	承認 (全会一致)
専決処分の承認について（令和2年度下呂市一般会計補正予算（第9号））	
専決処分の承認について（令和2年度下呂市一般会計補正予算（第10号））	
専決処分の承認について（令和2年度下呂市一般会計補正予算（第11号））	
専決処分の承認について（令和2年度下呂市一般会計補正予算（第12号））	
専決処分の承認について（令和2年度下呂市水道事業会計補正予算（第2号）） 令和2年7月豪雨により発生した災害の復旧や対応に係る経費の補正。	
下呂市功労者表彰につき同意を求めることについて 各務吉則さん、大森章弘さん、石神拓実さん、西尾晏享さん、伊藤 正さん、中島知子さん、住 智治さん、富永京子さんを 下呂市功労者として表彰することに同意を求めるもの。	同意 (全会一致)
令和2年度下呂市一般会計補正予算（第13号） 令和2年7月豪雨により発生した災害の復旧や対応、新型コロナウイルス対策に係る経費の補正。	可決 (全会一致)
下呂市過疎地域自立促進計画の変更について 下呂市過疎地域自立促進計画の内容変更について議決を求めるもの。	
市道の路線認定について 一般県道のバイパス道路改良に伴い、旧道を和川83号線として市道に認定するもの。	
市道の路線認定について 国道257号のバイパス道路改良に伴い、旧道を宝線として市道に認定するもの。	
下呂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について 法律改正に伴う字句等の変更、行政手続のオンライン化を進めていくため条例を改正するもの。	
下呂市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について この条例の引用する法律名が変更されたため条例を改正するもの。	
下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について この条例が基準としている国の省令が改正されたため条例を改正するもの。	
下呂市一般住宅の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 老朽化した一般住宅を用途廃止するため条例を改正するもの。	
下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について 老朽化した市営住宅を用途廃止するため条例を改正するもの。	
下呂市濁河温泉施設に関する条例の一部を改正する条例について 新型コロナウイルス感染拡大により、業績悪化する濁河温泉旅館の経営を支援するため温泉使用料等の減免規定を改正するもの。	
令和2年度下呂市一般会計補正予算（第14号）	
令和2年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
令和2年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号）	可 決 (全会一致)
令和2年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第2号）	
令和2年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第1号）	
令和2年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第3号）	
令和2年度下呂市水道事業会計補正予算（第3号）	
令和2年度下呂市下水道事業会計補正予算（第2号）	
令和2年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第2号）	
新型コロナウイルス対策および前年度繰越金の確定、前年度事業精算に伴う補正 他。	
下呂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	
下呂温泉合掌村の経営適正化と今後のあり方を調査、検討するための委員会を附属機関として定めるため、条例を改正するもの。	
下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	
下呂温泉合掌村の経営適正化と今後のあり方を調査、検討するための附属機関の設置に伴い、委員の報酬および費用弁償に係る規定を定めるため、条例を改正するもの。	
令和2年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第2号）	
下呂温泉合掌村の経営適正化と今後のあり方を調査、検討するための附属機関の設置に伴い、必要な報酬および費用弁償を補正。	
一般廃棄物処理に係る事務の委託の廃止について	
令和2年7月豪雨災害により高山市に委託していた一般廃棄物処理について廃止するもの。	
財産の取得について	
公用自動車(金山小学校スクールバス)2台を購入するもの。	
財産の取得について	
下呂市小中学校GIGAスクール用コンピュータ1,521台を購入するもの。	
令和2年度下呂市一般会計補正予算（第15号）	
令和2年7月豪雨により発生した災害の復旧や対応に係る経費の補正。	
令和元年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について	
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について	
令和元年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について	
令和元年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について	
令和元年度下呂市水道事業会計決算の認定について	
令和元年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について	
令和元年度各会計の決算の内容を確認し認定。	

○全会一致で可決した議案【①は委員会提出議案 ②は議員提出議案】

議 案 名	審議結果
地域の实情に応じた経済対策を求める意見書	可 決 (全会一致)
令和2年7月豪雨災害を受け、国土強靱化や地方財政措置を国に求めるもの。	
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を国に求めるもの。	可 決 (全会一致)
② 下呂温泉合掌村使途不明金調査特別委員会の設置に関する決議について	
下呂温泉合掌村における使途不明金事件の全容解明等に向けた調査を行うため、設置するもの。	

○全会一致で認定しなかった議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
令和元年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について	不認定 (全会一致)

○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名											審議結果		
	鷲見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤嚴悟	一木良一		吾郷孝枝	中島新吾
下呂市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について 下呂温泉合掌村における公金の着服事件を受け、市長としての姿勢を示すため給与の減額をするもの。	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	可決 (賛成多数)
令和2年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
令和2年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) 新型コロナウイルス対策および前年度繰越金の確定、前年度事業精算に伴う補正 他。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
令和元年度下呂市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	認定 (賛成多数)
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
令和元年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
令和元年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
令和元年度下呂市下水道事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

○報告案件

議案名
一般財団法人下呂ふるさと文化財団の経営状況の報告について
健全化判断比率の報告について
資金不足比率の報告について
放棄した債権の報告について

総務教育民生 常任委員会

9月17日、委員会を開催し、付託された5議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市過疎地域自立促進計画の変更について』(過疎法に基づき策定している過疎地域自立促進計画の重要変更を行うもの)

Q 国が過疎自治体を財政支援する過疎法の期限が令和2年度末となっているが、新たな法律制定の見通しは。

A 国では期限延長の方向で議論が進められていると承知しています。今後の国会での審議を注視したいと思います。

『下呂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について』(法改正に伴い、行政手続のオンライン化を進めるため条例を改正するもの)

Q オンライン化を進めることにより高齢者等が置き去りにならないようにすべき。

A 直ちにすべての手続きをオンライン化するものではなく、オンライン化により不便になる方がいないか等、検討した上でできることから進めていく考えです。

産業経済 常任委員会

9月18日、委員会を開催し、付託された7議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『市道の路線認定について』(道路改良に伴い、道路を市道認定するもの)

Q 従来は、県道を改良し、新バイパスが完成後に古い県道を市道とする。その際には、修繕済の道路を譲り受けるのが原則。

A 県と市の協議の場で旧道処理計画に基づき、舗装や側溝修繕などを要求しています。ルール作りも含めて、しっかりと県にお願いしていきます。

『下呂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について』(下呂温泉合掌村の経営適正化と今後のあり方を調査、検討するための委員会を附属機関として定めるため、条例を改正するもの)

Q 民間の方の構成メンバーは一般公募できないのか。

A 住民の代表は自治会の代表を予定しており、一般公募の予定はありませんが、会議の内容は公表することとしています。

予算特別委員会

9月23日、委員会を開催し、付託された、12議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《金山病院職員の給与等の予算計上漏れ》

Q 職員の給与と手当が計上誤りということだが、新たな職員が配置になった場合には、チェックするのは当然と思うが。

A 給料1名分の計上漏れであり、今般の合掌村同様の、チェック漏れの事案です。上司の部下に対する業務チェック方法や個々の業務課題の洗い出しを本日付けて全職員に周知しました。

《移住定住事業》

Q コロナ禍のピンチをチャンスに変える取り組みは。

A 現在のコロナ禍の状況では、移住定住イベントも実施できず、経費は減額していますが積極的な情報発信は行っていきます。

《各地域イベント中止について》

Q 従来の各地域イベントの中止はやむを得ないが、冬にかけて若者が計画した場合には、支援はしてもらえるのか。

A 屋外イベントの開催制限も緩和されようとしています。若者の中には、イベント実施を望まれている方もあるように聞いており、柔軟に対応していきます。

《間伐材安定供給支援事業》

Q 7月の災害は間伐で放置された木材などが原因で、土石流が発生した。間伐材の搬出補助を活用し、木材をできるだけ搬出して、災害が起こらない山林となるよう指導してほしい。また若い林業従事者の育成も行ってほしい。

A この事業の搬出補助金だけでは十分でないと考えています。今後どのように倒れた木を撤去し、災害の起きない山づくりができるか、総合的に検証していきます。また、林業従事者の育成については、森林環境譲与税を活用していきます。

《保育所施設整備事業》

Q 事業を中止した子育て支援センターの整備は、若い世代の助けにもなり有効な施設になると思う。来年度以降に事業化されるのか。

A 子育て支援センターの整備は、地元からの強い要望もあり、利用者も多いことから、今後もNPO法人と相談して、建設に向けて取り組んでいきます。

決算特別委員会

9月24日、25日、28日の3日間、委員会を開催し、令和元年度一般会計決算、8つの特別会計決算、および3つの公営企業会計決算の認定について審査し、下呂温泉合掌村事業会計決算を除き、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

なお、下呂温泉合掌村事業会計決算の審査に関しては、6ページ下段をご覧ください。

【一般会計】

(市税の徴収状況)

Q 不納欠損処分(徴収すべき債権が時効等により徴収できないと決定すること)が前年度に比べ多いが、適切に債権管理がされているのか。

A 県税事務所への研修派遣等による職員のスキルアップも含め、市税の収納率を高める方策を検討したいと思います。

(市職員の採用計画)

Q 市職員は地域づくりを進める上で重要な役割を担うことになる。地域バランスに配慮した積極的な採用を行っていくべきと考えます。

A 現在の職員構成から今後、し

ばらく退職者が多い状態が続く中、一定数の新卒者をしっかりと採用しながら、併せて社会人枠やU・Jターン枠で若年層の補充を進めていきたいと考えています。

(マイナンバーカードの普及)

Q 事業所への出張によるマイナンバーカード交付申請受付が行われているが、来庁による手続きが困難な高齢者等に対する支援は検討できないか。

A 事業所や老人ホームへの訪問による手続支援は積極的に行っています。個人宅への訪問については行政サービスとしては難しいので、他の形での支援を考え進めていきたいと思っています。

(危機管理体制の確立)

Q 災害対策上、危機管理課の果たすべき役割と責任がますます重要となっている。その中で専門的な判断が可能な職員を育成していくべきと考えます。

A 危機管理に限らず、すべての部門において人材育成はしっかりと行っていきます。災害対策においては、市としてのレベルアップに加え、県との連携により専門家の派遣を受け、的確な対応を行っていききたいと思います。

(病児保育サービスの提供)

Q 病児保育サービスは、保護者

に安心感を与えるとともに、保育士の負担軽減にもつながっている。ので、一層推進していただきたい。

A 現在、きたこども園を除くすべての園に看護師を配置し、病児保育(体調不良児対応)に取り組んでいます。登園時における健康チェックの対応など、専門的な視点での確かな判断ができることから、メリットは大きいものと考えます。

(地産地消の推進)

Q 地産地消推進事業の中で支出された地産地消システム更新事業補助金の内容は。

A 金山朝取横丁、さんませ工房、南飛騨小坂はなももの3力所の地元農産物直売所が行ったボスシステム(日々の売上げを商品種類ごとに集計分析して経営に活かすためのシステム)、産直システム(販売情報管理・会計処理)等の更新に要した費用に係る補助金です。

(消防車両の運転免許取得支援)

Q 消防車両には普通免許で運転ができないものもあり、非常時の緊急出動に支障がないよう市として必要な免許取得に対してしっかりと支援をすべきと考える。

A 消防団配備ポンプ自動車の運転には、準中型免許が必要となるため、今年度より免許取得費に対する助成を行っています。また、

消防本部配備車両の中には大型免許が必要なものがあり、消防職員の大規模免許取得への支援に関しては、来年度の制度化に向け検討を進めます。

(学校給食センターの運営)

Q 新たなスタートを切った北部学校給食センターについて、給食の配送エリアが広範囲となり、以前より配送に時間を要していると思うが、運営上の問題点等は生じていないか。

A 実際、配送時間が長くなり、運行計画も時間に余裕のないものとなっておりますが、各学校と取り決めた到着時刻は守れています。また、食缶についても保冷保温可能なものに更新するなどして、今のところ学校側からの苦情等はありません。

【介護保険特別会計】

(小坂老人保健施設の運営)

Q 老人保健施設で介護サービスを提供する人材は適切に確保されているのか、職員体制に係る課題はないか。

A 現在勤務する介護福祉士、ケアマネージャー共に50代の後半で、今後5年位は確実に不足してくるものと考えます。このため、以前から募集を行い人材確保に努めています。

令和元年度下呂温泉合掌村事業会計決算を全会一致で不認定

下呂温泉合掌村では、今年5月に多額の使途不明金が発覚しました。そのため、本定例会提出の決算は、現金の着服と不正な支出を反映したものになっておらず、22カ所が実態と異なる金額が計上されているとの説明を市執行部から受けました。

議員からは、「決算額が正確でないと分かっている状況下で認定はあり得ない。」との意見があり、本定例会最終日の本会議において、令和元年度下呂温泉合掌村事業会計決算を全会一致で認定しないことに決定しました。

なお、現金着服・不正支出を反映した本来の決算額の早期確定と、全庁的な再発防止に係る是正処置の報告を市執行部に求めました。

【決算の認定・審査とは?】

決算は、予算を執行した結果として、収入・支出の状況等を示すもので、議会の認定を受けて確定します。議会は、予算が適正に執行されたのか、目的としていた行政効果が得られたのかなどを審査し、認定するかどうか判断します。

【決算が不認定になると?】

地方自治法により、市長は、決算の不認定を踏まえ必要な措置を講じたときは、速やかな議会報告と公表が義務付けられています。

新たな特別委員会を設置

本定例会最終日に、下呂温泉合掌村における使途不明金事件の全容解明等に向けた調査を行うための新たな特別委員会を設置する決議が議員提出議案として上程され、全会一致で可決されました。

下呂温泉合掌村使途不明金調査特別委員会

定数 7人	
委員長	鷲見 昌己
副委員長	森 哲士
委員	田口 琢弥
	中島 ゆき子
	田中 副武
	一木 良一
	中島 新吾

活動方針

市民の皆さま、執行部、議会の共通の思い「二度とこのような問題を起こさない」に向け、特別監査および内部調査の結果報告の検証、必要に応じた調査を行い、全容解明に取り組んでいくとともに、再発防止対策等に係る議会としての提言につなげていきます。

一 般 質 問

13人が市政を問う



1 番
驚見昌己議員

災害発生時やコロナ禍の状況下に対応した通信環境整備について
災害情報伝達手段の推進が必要と考えるが、災害時における情報発信の現状は。
①防災行政無線の適正運用について。

◆副市長

今後は河川水位や気象情報などを事前にお知らせするなどの運用も必要だと感じています。

②CATV(チャンネル下呂)の防災活用について。

◆副市長

「アラート(国の災害情報共有システム)と連携した文字放送についての検討や、ケーブルテレビの特性を活かした、きめ細やかな災害情報をお伝えする手法について検討したいと考えています。

③移動通信不感知エリア解消について。

◆副市長

市で整備している光ケーブルの活用も事業者に提案するなど、解消に向けた検討を進めたいと考えています。

④避難所のWi-Fi環境整備について。

◆副市長

現在、市が開設する指定避難所は66カ所ありますが、Wi-Fi環境が整っているのは5カ所のみです。経費など担当部と協議して整備を進めたいと考えています。

新しい生活様式を受け、通信環境を配したテレワーク可能なワークスペースを整備し「サテライトオフィスタウン下呂市」として都市部企業に発信してはどうか

◆観光商工部長

通信環境が十分であればテレワークは在宅で行うことができることから、まずは都市部の企業の需要を把握し、受入環境との調整を図る必要があると考えます。

災害に強い「命の道」整備計画について

「命の道」が寸断する被害を受けた。災害に強い幹線道路整備の必要があると考えるが、現状の整備計画は。

◆市長

災害発生後、大臣や多数の国会議員が災害現場を視察されたのをきっかけに、様々な機会で見学や道路事情を説明し、要望してきました。特に国道41号の強靱化については、今後も強く要望を続けていきます。



9 番
今井政良議員

7月の豪雨災害により明らかになったインフラ整備・避難所機能の充実の重要性について

①国道41号崩落による通行止めに伴う、迂回路線のインフラ整備と早期復旧に向けた市内の現状と今後の事業計画について。

◆建設部長

現在、市内の公共災害20カ所の災害査定を順次、受けています。すべての道路を一齐に整備することとは難しいので地域バランスなどに配慮しながら、施工していきます。

②新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時における指定避難所・一時避難所の機能と課題について。

◆副市長

「災害時における宿泊施設提供に関する協定」による官民連携などをきっかけに、今後も体制強化を図っていきます。

下呂温泉合掌村における使途不明金事件について

①定期人事異動について、どのよ

うな考えのもと、行っているのか。

◆副市長

地方自治を担う職員として幅広い知識と経験を得る必要があると考えています。原則、若い職員は2〜3年程度で、中堅職員は3〜6年程度の周期で異動の対象としています。

②事件発生時の責任の所在と今後の市としての対応について。

◆市長

当然当時の幹部にも、監督者としての責任はあったと認識しています。今後はシステムの改良や見直しを行い、人事交流をはじめとした職員教育を徹底します。

GoToトラベルキャンペーンの実績について

市内のGoToトラベルキャンペーン事業申請件数と利用者数および年末に向けた見通しについて。

◆観光商工部長

事業申請件数は、52件となっています。利用者数については、8月の市内宿泊客数は5万7033人でほとんどのお客様がGoToトラベルの利用者であると考えています。

今後は、地域クーポンの発行等により、さらなる効果が期待できると考えます。ただし、感染予防対策などにより、まだまだ厳しい状況が続くことが懸念されます。



4 番
森 哲士 議員

国道41号および県道湯屋温泉線 の復旧工事について

①7月豪雨で通行止めとなった小坂町門坂の国道41号と県道湯屋温泉線が、片側交互通行となったが、本復旧工事の見通しは。

◆建設部長

国道41号は現在、国土交通省が国道崩落側と河川側を調査し、河川管理者と協議を行っています。湯屋温泉線は、災害査定が済み次第、施工時期については協議していきます。

②今後の災害を最小限に抑えるための対策はどのように考えているか。

◆建設部長

危険箇所の事前調査は必要ですが、まずは今回の災害復旧に注力したいと考えています。

連続する災害に対する避難所運営 方法の見直しと自治会との協働 制について

①7月豪雨で孤立地域が発生したが、今後の避難所対策は。また、高齢者などの要支援者の避難誘導対策は。

◆副市長

避難所の分散化について検討し

ていきます。要支援者には、自治会への要支援者名簿の提供などにより、早めの避難行動を促すよう考えています。

②地域の防災力向上のため、地区防災計画策定が重要と考える。また、避難所開設運営に当たっては、自治会との緊密な連絡調整が必要であり、そのための連携訓練等の状況は。

◆副市長

市内の先進事例を紹介しながら、自分たちの地区は自分たちで守る意識付けをしていきたいと考えています。訓練については下呂市防災士会を中心に実施しています。

中小河川の氾濫・護岸崩壊による 復旧工事について

7月豪雨で、特に住宅に被害をもたらした中小河川、生活道路、農地と農業用水路に係る今後の復旧・改良工事の計画は。

◆市長

今の状況に適切させる復興（適応復興）の考え方を県も打ち出しており、連携していきたいと考えています。

◆農林部長

国の災害復旧事業などを活用し、できる限り来年の耕作への影響を少なくするよう取り組んでいきます。



7 番
中島ゆき子 議員

下呂市の財政について

①令和2年度末の財政調整基金残高の見込額と財政調整基金の取り崩しに対する市長の考えは。

◆総務部長

令和2年度末の財政調整基金残高の見込額は、45億円程度を確保したいと思えます。

◆市長

災害でどうしても必要な状況下では、大胆に使うことも必要ですが、最低でも30億円のベースは守っていきたくと考えています。

②市長は、ゴミ袋価格の半額化を掲げているが、財源と予算額および実施時期は。

◆市長

4年間の任期の中で、できるだけ早く実施したいと思えます。財源は、ふるさと納税で恒常的に3億円を目指し、活用したいと考えています。

③新型コロナウイルス感染症予防から行事が縮小となっているが、計画および事業費の見直しは行うのか。

◆総務部長

今回の9月補正では、中止・縮小・延期とした42の事務事業で1億9千6百万円程の減額補正をしています。新年度の当初予算編成に向けても、どのように取り組んでいくのかを含め見直しを進める予定です。

④市内の事業者を支援する市単独の事業「下呂市事業者運営支援事業」の申請状況と予算額の残高は。

◆観光商工部長

9月11日現在、支出額1825万円、73件の支給を行っています。予算残高は、1億675万円です。10月以降にもう一度申請忘れが無いか周知する予定です。

⑤新型コロナウイルス感染症による税収への影響は。

◆総務部長

経済活動の低迷による個人市民税、法人市民税などの税収に影響が出るものと考えています。

「下呂市地域公共交通網形成計画」 について

今年度の実施地域と進捗状況は。

◆生活部長

各地域の分科会を7月から順次実施しています。金山地域においても、分科会を開催し、来年度の小学校統合によるダイヤの見直しを含め、早急に進めていきたいと考えています。



10 番
伊藤 厳 悟 議員

令和2年7月豪雨について

①被害状況とその対策について。

◆副市長

特に顕著な被害として、主要道路の被災が挙げられます。道路の強靱化や迂回路の整備を国、県等と連携し進めていきます。

②今回の豪雨災害の教訓を今後どのように活かすのか。

◆副市長

過去の経験にとらわれず、早めの避難行動を促すことに活かしたいと感じています。

新型コロナウイルス感染症対策等による下呂市の経済への影響と医療体制について

①GOTOトラベルの下呂市観光への効果について。

◆観光商工部長

7月から8月のほとんどがGOTOトラベルの利用者と伺っています。宿泊施設の感染予防対策の徹底により、宿泊も日帰りの観光客も徐々に増えてきており、その効果と見ています。

②医療体制について。

◆健康福祉部長

新型コロナウイルス感染症は指定感染症であることから、県が医療体制の整備を行っています。飛騨地域の医療体制としては、73床が確保されています。

長引く休校措置による学校教育現場の現状について

①教員への過剰な負担はないか。

◆教育長

教職員の負担を少しでも軽減するため、保護者・地域の方々などの協力を得ながら感染症対策を行っています。

②夏休み短縮だけで学習の遅れをカバーできるか。

◆教育長

学習保障については、土曜授業や、学校行事の縮小などにより対応を計画しています。子どもたちの、個々の状況に応じた指導と支援をしていく必要があると考えています。

図書館建設について

◆市長

7月豪雨後に林道を歩いていて改めて山の荒廃を感じました。森林環境譲与税を有効活用し、今から一歩ずつ踏み込んで図書館を整備していきたいと考えています。また、図書館の整備に当たっては下呂市産材を使用し、子どもたちに夢と希望を与えたいと思います。



8 番
田中 副 武 議員
(公明党)

7月豪雨災害を受けて

①本格的な復旧工事が始まるが、建設業に対する技術者不足への配慮がなされるのか。

◆建設部長

国・県を含め、2年前の災害よりも規模が大きく、災害査定後において、平成30年度の発注方法前提に、建設業界のご意見も伺いながら対応していきます。

②発注に関しては、優先順位を定めていくのか。

◆建設部長

今年度通常発注分において、先送りできる工事は来年度以降の発注もやむを得ないと考えています。

今回の災害で多くの方が避難所に避難された

①課題となったことはないか。

◆萩原振興事務所長

感染防止を意識した避難所運営について、万全な対策を講じることに難しい状況でした。各家庭でも事前に必要な物資を準備し、避難されるよう啓発していくことも大切ではないかと感じました。

②分散避難の定着についての考え

◆健康福祉部長

国が示しています「密を避ける」「マスクの着用」「手洗いの徹底」を市民の皆さまにお願いしていきます。

は。

◆副市長

まだまだ周知不足だと感じており、今後も様々な機会で定着につながるよう周知していきます。

③体調不良者の対応についての考えは。

◆副市長

体調不良者、特にコロナ感染症が疑われる場合は、基本的にはご自身で飛騨保健所に連絡し、受診の相談や自家用車での移動をしていただくこととなります。

新型コロナウイルス感染症対策について

感染防止と社会経済活動を両立させた対策の強化が必要。

①秋以降のインフルエンザの流行も見据えた、PCR等検査体制の充実についての考えは。

◆健康福祉部長

県が医療体制の整備等を行っています。PCR検査は現在、1日800件のところ、1日1800件の実施を目指していると聞いています。今後も県の体制整備に協力していきます。

②『新たな日常』の構築に向け、生活現場における感染拡大を防ぐ取り組みの考えは。

◆健康福祉部長

国が示しています「密を避ける」「マスクの着用」「手洗いの徹底」を市民の皆さまにお願いしていきます。



13 番
中島新吾議員
(日本共産党)

振興事務所を大事にすることが「住民が主人公」のまちづくり

市長は「振興事務所の機能の強化と拡大」を述べられており、必要な職員の配置をするべき。特に課長職の配置を。災害が激甚化しているので市民の命と暮らしを守る体制づくりがどうしても必要。

◆市長

今回の災害で振興事務所機能の強化の重要性は認識しており、来年の人事異動には反映したいと思えます。市民皆さまの声を聴くのは基本的には地域の窓口である振興事務所と考えていますし、職員の教育の場、広く浅く知識を習得する場でもあると考えています。

職員の意欲を活かすための職場環境づくりを

市の組織と職員が市民の命と暮らしを支えている。執行部は職員減や組織のスリム化を進めるといいますが、職員としっかりと話し合い労働条件などの改善を推進することが大事。

◆総務部長

今年度作成する職員定員適正化計画の中で示していくことになり

ますが、今後は、毎年新卒者を一定数採用するなど、退職者数を考慮しながら、社会人枠やU・Jターン枠で若年層の補充を進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症予防と経済活動の元気のための対応

経済の悪化は長期化が避けられない。市民の生活・営業がもちこたえられる支援をしっかりと継続し、感染拡大抑制の体制づくりを、県と連携して強化すること。

◆観光商工部長

県や国の制度を注視しながら連携し、必要な市の制度を検討していきたいと考えています。

◆健康福祉部長

下呂市は、すでに県担当部署へ新型コロナウイルス感染症患者発症時には協力する旨を伝え、市職員では法的に権限が与えられていない業務もあることから、県と連携強化することとしています。

災害での農林業の被災現場の復旧に全力で

住民の離農につながらないように。

◆農林部長

土砂流入のあった農地の復旧については、刈り入れが終わるのを待つ順次取り掛かります。被災された耕作者の方にご利用いただく予定の重機借上げ制度については、個人の申請も受け付けています。



5 番
田中喜登議員

下呂温泉合掌村の用途不明金問題について

①会計システムの根本的な見直しと、監査体制を強化する旨の表明がなされているが、現時点で当該部署では現金出納の方法はどのような形で行われているのか。

◆観光商工部長

現在、合掌村内の入場窓口と各店舗で現金の取り扱いがありま。各店舗にはPOSレジシステムというレジスターが設置されており、各店舗の売上状況を事務所のパソコンにて管理できるシステムが設置されています。また、その日の売上額は複数の職員により確認を行っています。

②新たな監査体制として、監査課長の配置や、監査課職員の増員等の方針は。

◆市長

今後も議会事務局長と監査委員事務局長は密接な関係がありますので、兼務を考えています。監査課長については別に配置します。監査課職員は現在2名ですが、増員の方向で検討します。

③会計管理者と会計課長の兼務についても法的に見て適正を欠いているとの指摘があるが、どのように改善していくのか。

◆市長

会計管理者と会計課長も分けま。会計管理者は部長級を考えています。

新型コロナウイルス感染症について

①観光産業・製造業をはじめ依然として深刻な状況が続いているが、市として新たな支援事業の計画はあるのか。

◆観光商工部長

全国に向けた宿泊クーポン券の発行並びに市民を対象とした平日限定の宿泊割引クーポン券の発行や、WEB上で事業所を紹介する動画を制作するための委託費用の支援を計画しています。

②大学生に対する支援について、市長は前向きに検討していくと前回定例会で答弁されたが、現在どうなっているのか。

◆副市長

現時点では、具体的な支援策を打ち出すには至っておりません。下呂市出身の大学生に対する市独自の支援が必要な状況が生じた場合には、速やかに対応することができるように、大学生を取り巻く課題や国や大学等による支援策を注視したいと考えます。



6 番
尾里集務議員

地域を守る防災事業について

①今年も豪雨による災害が発生したが、復旧に当たっては、原形復旧にとどまらず、再発防止のための改良復旧が必要と考えるが、その計画は。

◆建設部長

原則は原形復旧ですが、今後は事前防災・減災の観点から適応復旧も視野に入れたいと考えております。

②ドローンによる被害状況把握について、今後の検討は。

◆建設部長

市の土木職員にもドローン技術の習得を進めていきたいと考えています。

③災害予防のための砂防堰堤に堆積した土砂除去の実施の考えは。

◆建設部長

県下呂土木事務所で調査・検討されており、市としても、強く要望してまいります。

下呂温泉合掌村使途不明金問題について

①下呂温泉合掌村の使途不明金問

題で、不正が行われていた当時の人事管理（個々の職員のスキルに合わせた適材適所の人事異動など）は適正になされていたのか。

◆副市長

合掌村の人事に関しては、当時管理職が2年で異動となっていることなどで、結果として元職員の在籍期間が長くなってしまったことも要因の一つであると考えます。

②不正が行われていた当時に関係していた退職職員の責任はどう問うのか。

◆総務部長

退職職員からも意見聴取を行っていますが、退職者については地方公務員法等の適用ができないため、懲戒処分等を行うことはできません。

下呂市に住むみんなのための遊び場の整備について

①以前、女性有志グループから「旧下呂温泉病院跡地への公園造り」の提案・要望がされているが、その後の対応は。

◆市長

緑地公園側を公園に、駅側については当面、駐車場とする案があります。今後、市民の皆さまのご意見を聞きながらスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。



2 番
田口琢弥議員

新型コロナウイルス感染症に対応したゴミ収集・処分に係る防止策について

6月定例会の一般質問でも取り上げた、下呂市としての在宅療養者等の自宅から排出されるゴミによる収集者の感染防止のためのマニュアルは、作成されたか。また、その内容は。

◆環境部長

収集業者における感染防止対策については、環境省でガイドラインを作成しており、それに従って従事していることから、下呂市独自としてのマニュアルは作成していません。

一般廃棄物排出用指定ゴミ袋の価格見直しについて

ゴミ袋の価格見直しは、4年間の任期中に検討したいとのことだが、価格見直しに対する動きはあるのか。

◆市長

市民生活の見直しの象徴の一つとして、ゴミ袋の価格見直しを掲げています。現在は進捗していませんが、担当課で研究しています。価格の見直しに合わせ、ゴミの総

量抑制と市民皆さまの環境問題に対する意識高揚にもつなげたいと思います。

下呂温泉合掌村使途不明金事件と、新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について

使途不明金2億6千万円については、市民の皆さまの税金が使われたのか。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国でイベントが中止になっている。観光客誘客のためのイベントなど何か計画しているのか。

◆観光商工部長

使途不明金の2億6千万円については、すべて合掌村へ入場していただいたお客さまからの入場料と施設内にある店舗での売上で、市民の皆さまに納めていただいた税金ではありませんが、下呂市が管理する直営の施設であり、その売上金は公金である事には間違いありません。また、イベントなどの計画は、例年12月に実施していましたが下呂温泉花火ミュージカル冬公演について、密を避けるため1回の公演時間を15分から10分間に短縮し、10月から毎週土曜日の開催など、回数を拡充して、事業内容を見直しての実施が予定されています。

また、11月には下呂交流会館にてエコツーリズム全国大会の開催が予定されており、下呂市を全国に発信し誘客につなげていきたいと考えています。



3 番
飯塚英夫議員

令和2年7月豪雨災害を受けた後の備えについて

① 毎年のように発生する災害のリスクをどうやって最小限に食い止めるのか。公共事業だけに偏ることなく、関係各機関への強力な働きかけなどのソフト面の対策が必要と考えるが、その方向は。

◆農林部長

「治山堰堤」と「砂防堰堤」をうまく配置して土石流等による災害のリスクを減らしていかなければなりません。地域からの要望を伺いながら状況を調査し県に対して対策を働き掛けていきます。

② 国道41号の雨量規制緩和、屏風岩改良・門原防災などの事業推進、迂回路としての林道や県道・市道の機能強化、具体的な要望活動や今後の見通しは。

◆市長

国にもご努力いただいています。危機感を持って復興に向けて国道41号の強靱化と濃飛横断自動車道の整備を中心に強く要望していきます。

技術職員等の適正な配置と育成について

① 豪雨災害の被災地では、土木等技術職員や建設業者らが不足する事態が生じている中、国・県・関係各署との技術的な協議を対等に行わせる職員の育成が必要と考えるが、その方向は。

◆総務部長

昨年度、本年度と技術職の職員募集を行いました。応募がありませんでした。市役所内部の取り組みとして土木技術をもった職員の一部集約を行いました。また、職員同士での指導・監督を行うことにより、技術職員の育成と確保に努めていきたいと考えています。今後は、県の農林部門との職員交流や派遣についても検討していきたいと思えます。

② 地域に精通している課長級職員や、経験豊富な技術職員による現場指揮等が直ちに対応できるように各振興事務所の機能強化が必要ではないか。

◆市長

振興事務所は地域の窓口であり、浅く広く市民の皆さまから身近な問題を相談できる場所としたと思っています。ただし、災害時は組織的に動く必要があるため、深く狭くグループで専門性を持って臨みたいと考えています。



12 番
吾郷孝枝議員
(日本共産党)

新型コロナウイルス対策、PCR検査の積極的な拡大を

① PCR検査は感染拡大抑止に不可欠。感染が発生してからではなく、早期発見早期対応をするためにも、検査の積極的な拡大が必要。検査の対象を点から面でとらえ、特に医療・介護・障がい者施設、学校、こども園などで働く人たちが、安心して働けるよう定期的なPCR検査を。

◆健康福祉部長

現在、県の行政検査であるPCR検査数は、1日800件が上限ですが1800件の実施を目指しています。検査試薬の増産をはじめ、PCR検査を実施する医療機関の増加や、国の財政支援も必要と考えており、国や県の動向を注視しながら市としての取り組みを検討していきます。

② 無症状感染者であっても自宅療養とはしないでホテルなどの「後方施設に入所」とされている。無症状感染者からの感染が感染ケースの4割を占める中、市の対応は。

◆健康福祉部長

新型コロナウイルス感染症は指定感染症であることから、県が医療体制等の整備を行っています。飛騨地域の医療体制については、飛騨保健所が行っており、73床が確保されています。また、医療機関からの退院後に入ることができるよう後方支援施設は高山観光ホテルで、38部屋確保されています。現在、飛騨地域の病院への新型コロナウイルス感染症患者の入院数はゼロです。

◆少人数学級の拡充について

① 学校再開で新型コロナウイルス感染症予防と、児童・生徒の学習を保障するため、少人数での学習が望まれている。40人学級では「身体的距離の確保」は困難である。40人学級編成となる小学4・5・6年生、中学2・3年生についても、できるだけ少人数での学習環境が必要では。

◆教育長

少人数での学級編成の必要性は感じています。少人数学級の実現には、国による財政的な措置も期待したいところですが、「教員確保」といった大きな課題があることも確かです。人材確保も含めた少人数学級の実現について、県や国に要望を継続していきたいと考えています。



11 番
一木良一 議員

下呂温泉合掌村の使途不明金について

内容は解明できたのか。

◆観光商工部長

この度の事件が発覚した5月16日以来、担当部署にて調査を行ってきました。元職員が観光施設に異動してきた平成23年度から9年間の間に売上等の着服や詐欺が行われていたことが確認できました。総額2億6527万2905円であり、その回数、内訳金額については特別監査報告書のとおりです。現在、全容の解明に向け、刑事告訴を終え、損害賠償を求め民事訴訟を顧問弁護士と相談の上進めています。

竹原地区におけるバス運行について(ポランティアバスからデマンドバスへ)

それぞれの運行形態によるメリット・デメリットについて

◆生活部長

地区や区で行うバス運行のメリットは、道路運送法に縛られない運行ができ、「ドアトゥードア」での運行が可能になり、より地域

の方々のニーズにあった運行が期待できます。またデメリットは、運行責任の所在や市等からの支援が少ないことから、事業の持続性等が地域において確保できるかが大変重要な課題になると考えます。

小坂町大島1号線拡幅の進捗状況について

墓地の移転代替地の確保と今後の見通し。

◆建設部長

大島1号線の橋工事については、本年度舗装工の施工をもって完成となります。墓地の移転先につきましては、各個人のご判断により移転場所を考えられると思われまます。移転補償費については、市として対応したいと考えています。

携帯非通信地域の解消について

市内の居住地域における、完全非通知地域の現状は。

◆副市長

移動通信につきましては、居住地域のほぼ全域において、民間事業者による通信サービスが提供されています。場所によって使用できないなどの不感知エリアにつきましては、県を通じて、解消要望を行っているところですが、県や他の市町村とも連携を図りながら、早期の不感知エリアの解消に向けて、事業者に対して要望していきたくと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第4回【6月25日】

Q いきいきサロンについて、今後の開催はどのようになっていくのか。

A 会場の確保の関係もあり、現在、方針を検討していますが、できる限り早い時期に再開できればと考えています。

Q コロナ禍での避難所の開設について、予防対策を含めどのように行っていくのか。

A 今回の補正で予算計上し、パーティションなどの購入を予定しています。県の補助を活用し、衛生資材の備蓄を進めるよう、各地区に周知を図ります。

Q 3カ月の臨時休校が終わり、通常の学校生活が始まっているが、現在の学校の状況は。

A 欠席も少なく、子どもたちは元気に頑張っています。自分の命は自分で守るという合言葉を全校で徹底し、行事を進めています。

第5回【7月31日】

Q 市内で感染者および濃厚接触者が発生したことについて、市民メールでの情報提供や同報無線が流れたが詳しい内容ではなかった。市民メールを利用していない

方への周知はどうしているのか。また、濃厚接触者はPCR検査を受けたようだが、その結果はいつ頃わかるのか。

A 市民メールやホームページを閲覧できない方へは、声の広報で周知していきたいと考えています。PCR検査の結果はすでに出ていると思われませんが、県の方針として、感染者(陽性)であった場合は連絡が来ますが、そうできなかった場合(陰性)は連絡が来ない仕組みになっています。なお、結果については、飛騨保健所の指導もあり、公表はしておりませんが、今後、どこまで発表できるのか協議してまいります。

第6回【9月15日】

Q コロナハラスメントについて、他の自治体では感染者の家族に対して、ベテランの保健師を配置し、心のケアや相談を受ける対応をしているところもあるようだが、下呂市の対応は。

A 県から市に入る情報は、下呂市男性、〇〇歳としか入って来ないため、個人の特定ができませんし、たとえわかったとしても、職員がその自宅を訪問することはできません。ただし、ご本人やご家族からの申し出があれば対応をさせていただきます。また、ハラスメントについては警察とも連携対応しています。

下呂市議会基本条例(案)に対する意見募集について

下呂市議会では、議会および議員活動の原則など、議会に関する基本的事項を定め、議会の役割を明確にすることにより、市民の皆さまの負託に的確に応え、もって市民の皆さまの福祉向上と地域社会の活力ある発展に寄与することを目的として、「下呂市議会基本条例」の制定を目指し昨年度から協議を重ねてきました。このたび、「下呂市議会基本条例(案)」を取りまとめましたので、これを公表するとともに、広く市民の皆さまの意見を反映するため、意見募集を行います。

【議会基本条例(案)の構成と内容】

- **総則**
条例制定の目的と市民を代表する議事機関としての役割
- **議会および議員の活動原則等**
市民主権による活動を積極的に行うものとし、その責務を果たすための必要な原則
- **市民と議会との関係**
市民に開かれ市民参加を促進する市民と歩む議会を実現するための具体的な取り組み
- **市長等と議会との関係**
執行機関と政策競争をする議会を実現するための具体的な取り組み
- **委員会等の運営**
議員間討議を重視する議会を

実現するための具体的な取り組み

- **政務活動費**
政務活動費の交付等
- **議会の機能強化**
議員の資質、政策形成・政策立案能力の向上、円滑かつ効率的な議会活動のための具体的な取り組み
- **議員の政治倫理、定数・報酬**
議員の倫理的義務と議員定数・議員報酬のあり方
- **災害時の対応**
災害等が発生した場合における議会の行動基準等
- **最高規範性および見直し手続**
議会の最高規範である議会基本条例の趣旨を尊重すること、条例の施行状況の検証と、その結果に基づく必要な見直し手続

『できることから一歩ずつ改革を積み重ねていく』ことを、基本的な姿勢とし、まずは、今の実情を踏まえ、実現可能なところで条例制定を行うこととします。制定後は、条例に基づく改革を実践しながら、適時に条例の施行状況の検証と必要に応じた条例の見直しを行い、改革のレベルを徐々に高めていきたいと考えています。

■下呂市議会基本条例(案)の確認方法
下呂市ホームページからダウンロードしていただくか、議会事務局までご連絡願います。(連絡後に郵送します。)

■意見の提出方法
任意の様式に住所・氏名・電話番号とご意見をご記入のうえ、郵送、ファックス、電子メールによりご提出願います。

下呂市議会事務局
〒509-2295 岐阜県下呂市森960
TEL 24-2222(代)
FAX 25-28033
E-mail gikai-02@city.gero.lg.jp

12月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
11月30日	月	本会議(初日)	午前10時～
12月10日	木	本会議(一般質問)	
11日	金	本会議(一般質問)	
14日	月	常任委員会	午前9時30分～
15日	火	常任委員会	
16日	水	予算特別委員会	
18日	金	本会議(最終日)	午前10時～

※日程は変更になる場合もあります。

12月定例会会期日程

編集後記

元気のなかった下呂市。でもGoToキャンペーンで少しずつ以前の活気を取り戻しつつあります。中止が心配されていた、こども園、小・中学校の運動会も制限付きですが、開催されました。また、10月から11月にかけては、修学旅行・遠足も行われ、子ども達の笑顔も戻ってきました。毎週土曜日には花火、下呂交流会館の数々の催しなど、だんだんと、「コロナ生活」にも慣れつつあります。「withコロナ」、「新しい生活様式」そして、GoToわくわく下呂へと。

下呂市議会だよりがスマホで読めます!!

インターネット上で無料閲覧できる、ギフイーブックスで配信中です。

